

平成25年度  
草津市のまちづくりについての  
市民意識調査結果報告書

草津市

## 目 次

1. 調査概要 .....	1
2. 調査結果 .....	2
(1) 回答者属性 .....	2
① 性別	
② 年齢	
③ 居住年数	
④ 転入歴	
⑤ 居住地	
(2) 基本方針別にみる満足度評価 .....	5
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針・行財政マネジメント	
(3) 基本方針別にみる重要度評価 .....	9
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針・行財政マネジメント	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度 .....	13
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 行財政マネジメントのための基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動 .....	16
① 住環境評価	
② 定住意向	
③ 日常の行動	
(6) 草津市のイメージ .....	21
① 都市イメージ	
② 地域資源	

## 1. 調査概要

### 【調査目的】

平成22年度から平成32年度を計画期間とする第5次草津市総合計画の確実な進捗管理を行っていくため、計画期間中の各年度末での市民の意向を把握することを目的とする。

### 【調査対象者】

市民 3,000 人

### 【選定方法】

住民基本台帳の18歳以上の者から、年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出とした。

### 【抽出条件】

抽出基準日：平成26年2月14日（金）

### 【調査方法】

調査は無記名とし、平成26年3月3日（月）から3月17日（月）を調査期間として、郵送により実施した。

### 【回収状況】

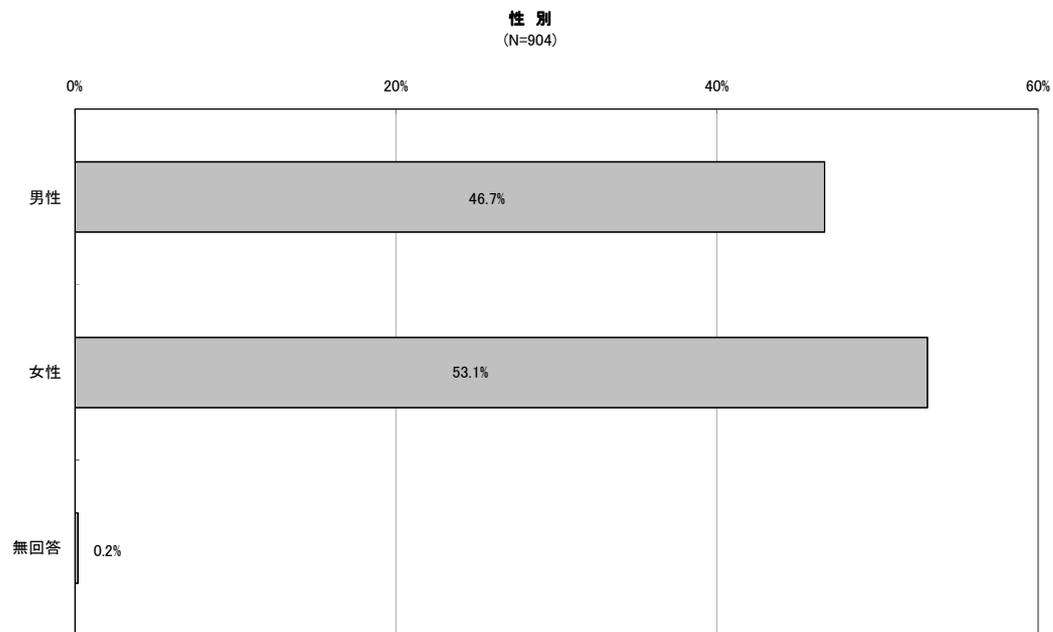
有効回答数 904 件、有効回答率 30.1%を得た。

## 2. 調査結果

### (1) 回答者属性

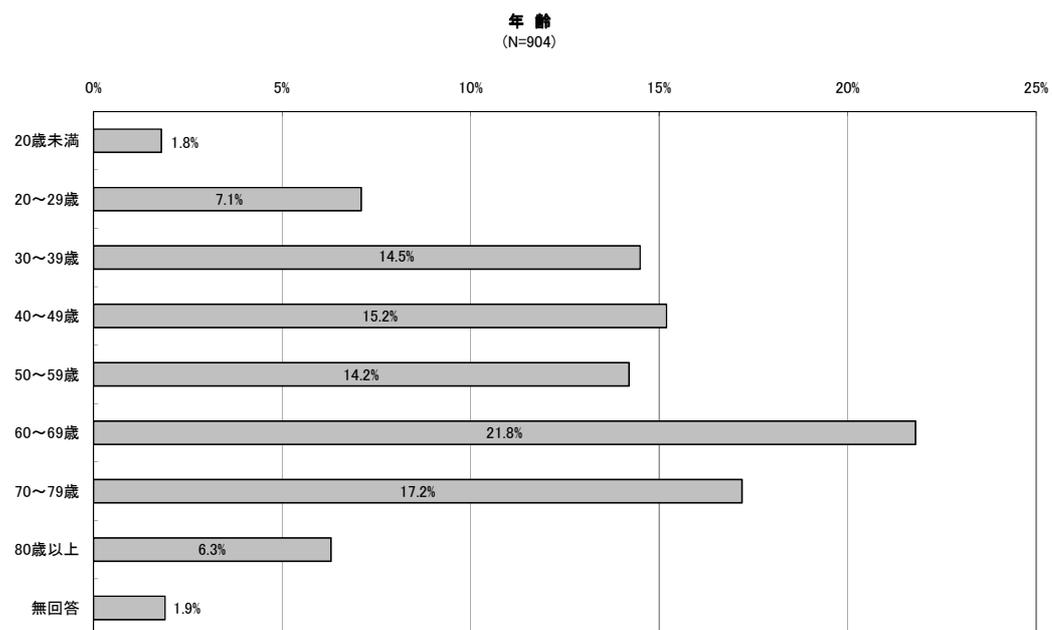
#### ① 性別

「男性」が46.7%、「女性」が53.1%となっている。



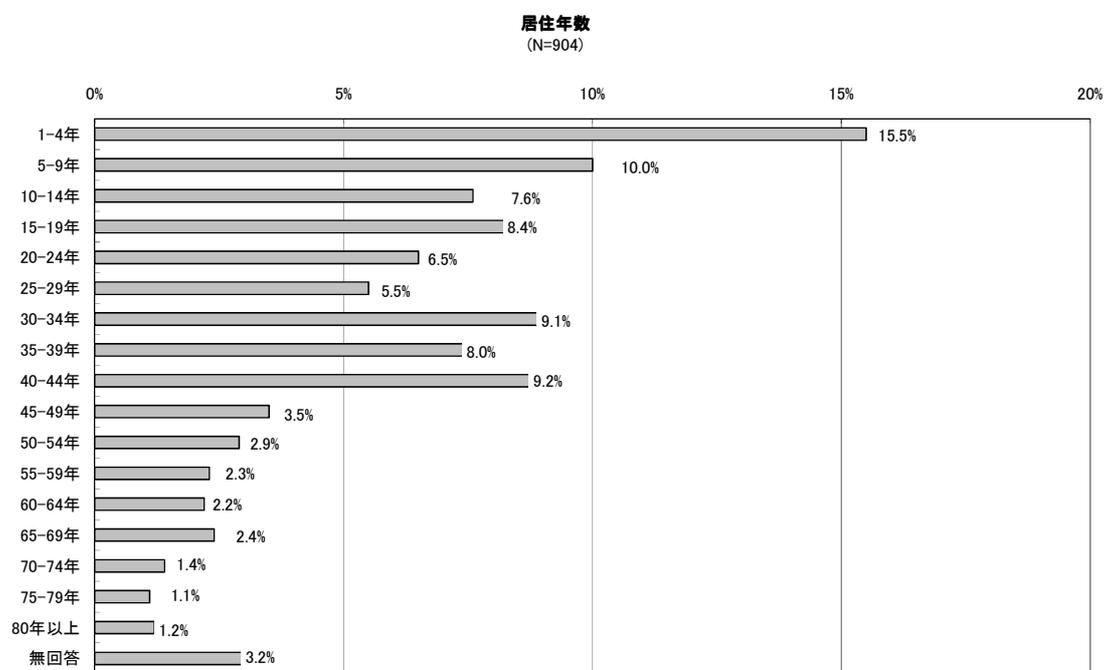
#### ② 年齢

「60-69歳」が最も多く21.8%、次いで「70-79歳」が17.2%、「40-49歳」が15.2%となっている。



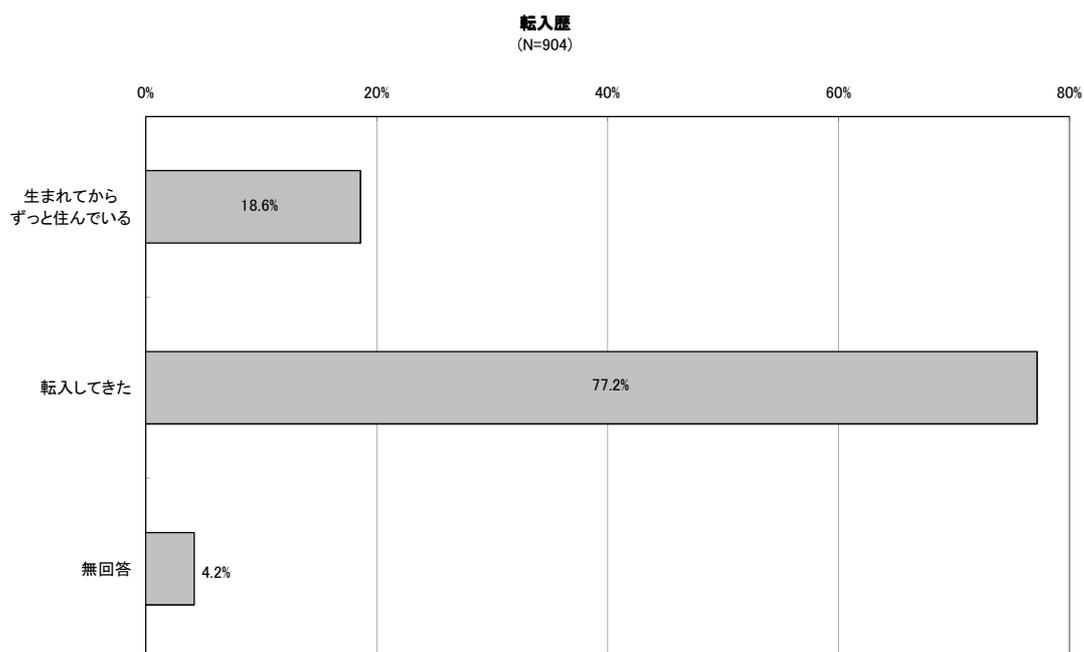
### ③ 居住年数

「1-4年」が最も多く15.5%、次いで「5-9年」が10.0%、「40-44年」が9.2%となっている。



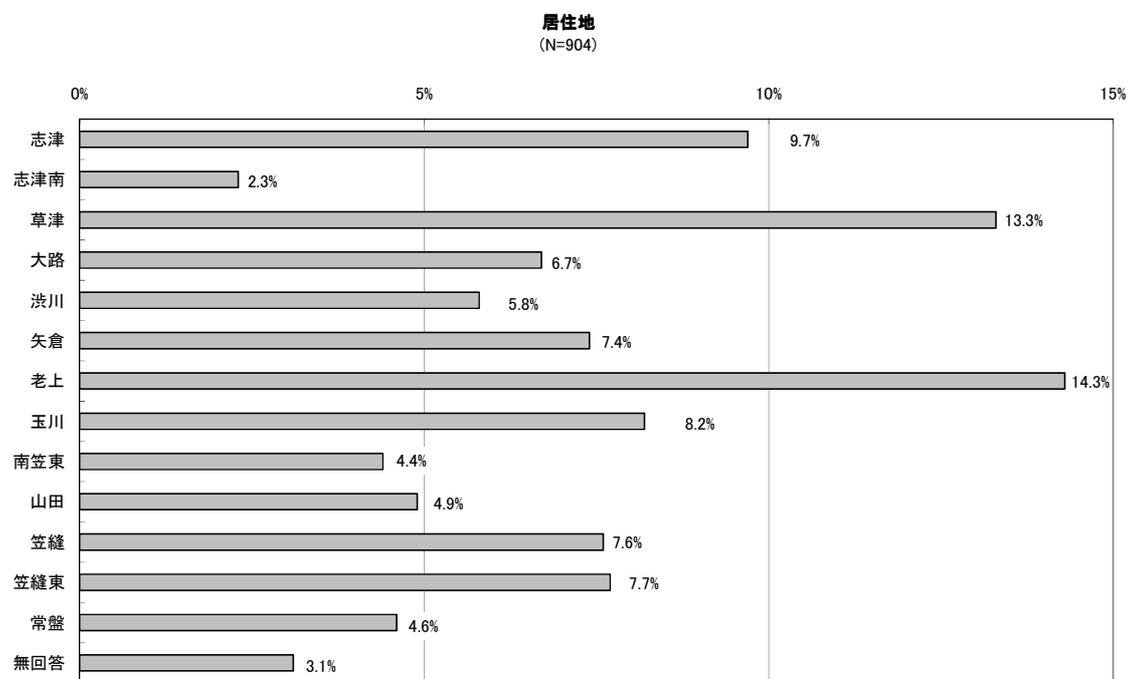
### ④ 転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が18.6%、「転入してきた」が77.2%となっている。



### ⑤ 居住地

「老上」が最も多く 14.3%、次いで「草津」が 13.3%、「志津」が 9.7%、「玉川」が 8.2% などとなっている。



## (2) 基本方針別にみる満足度評価

### ①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「満足」が最も多いのは、「人権の尊重」で10.3%、次いで「学校施設の整備」が8.4%となっている。

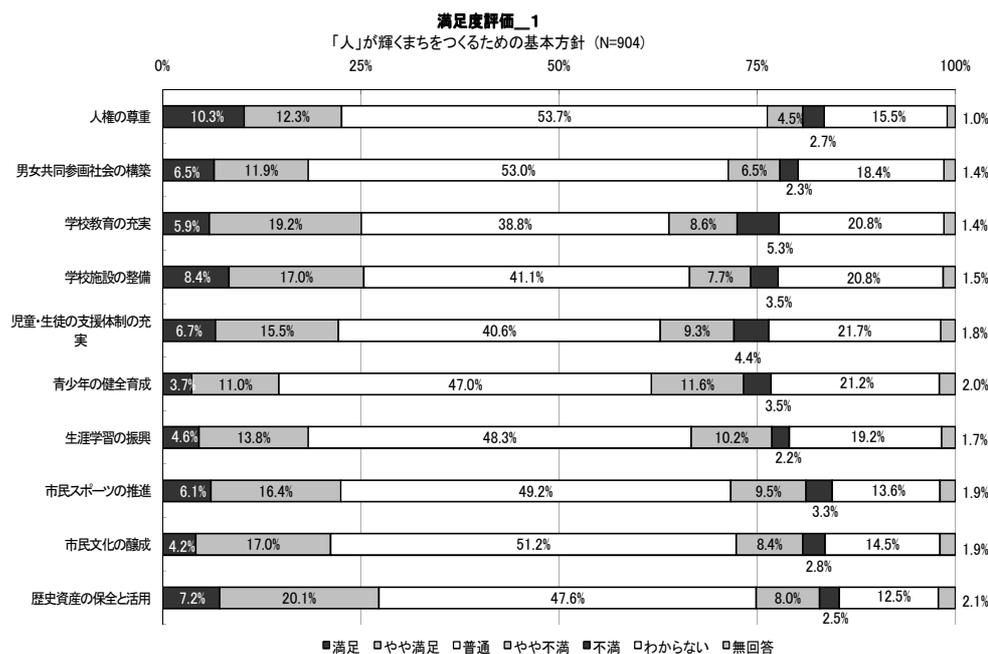
「やや満足」が最も多いのは、「歴史資産の保全と活用」で20.1%、次いで「学校教育の充実」が19.2%となっている。

「普通」が最も多いのは、「人権の尊重」で53.7%、次いで「男女共同参画社会の構築」が53.0%となっている。

「やや不満」が最も多いのは、「青少年の健全育成」で11.6%、次いで「生涯学習の振興」が10.2%となっている。

「不満」が最も多いのは、「学校教育の充実」で5.3%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が4.4%となっている。

「わからない」が最も多いのは、「児童・生徒の支援体制の充実」で21.7%、次いで「青少年の健全育成」が21.2%となっている。



## ②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「満足」が最も多いのは、「市民の健康づくり」で 8.0%、次いで「母子保健等の充実」が 7.5%となっている。

「やや満足」が最も多いのは、「市民の健康づくり」で 19.7%、次いで「母子保健等の充実」で 17.8%となっている。

「普通」が最も多いのは、「暮らしの安心の確保」で 56.2%、次いで「生活安定への支援」で 53.7%となっている。

「やや不満」が最も多いのは、「犯罪のないまちづくり」で 16.8%、次いで「就学前教育・保育の充実」で 12.4%となっている。

「不満」が最も多いのは、「就学前教育・保育の充実」で 7.3%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が 6.4%となっている。

「わからない」が最も多いのは、「放課後児童対策の充実」で 24.2%、次いで「地域ぐるみの子ども・子育て支援」が 21.7%となっている。



### ③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「満足」で最も多いのは「水の安定供給」で 15.6%、次いで「下水道の安定基盤づくり」で 10.5%となっている。

「やや満足」で最も多いのは「水の安定供給」で 26.2%、次いで「下水道の安定基盤づくり」で 22.2%となっている。

「普通」で最も多いのは「良好な環境の保全と創出」で 56.7%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」で 55.5%となっている。

「やや不満」で最も多いのは「安全・安心な道路空間の構築」で 18.7%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 18.0%となっている。

「不満」で最も多いのは「公共交通体系の充実」で 11.0%、次いで「草津川跡地の空間整備」で 9.7%となっている。

「わからない」で最も多いのは「低炭素社会への転換」で 20.5%、次いで「草津川跡地の空間整備」で 15.4%となっている。



#### ④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「満足」が最も多いのは、「観光の振興」で5.8%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」で4.9%となっている。

「やや満足」が最も多いのは、「観光の振興」で19.7%、次いで「中心市街地の魅力向上」で16.5%となっている。

「普通」が最も多いのは、「基礎的コミュニティの活性化」で56.9%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」で56.1%となっている。

「やや不満」で最も多いのは、「観光の振興」で13.8%、次いで「中心市街地の魅力向上」で10.1%となっている。

「不満」で最も多いのは、「観光の振興」で4.4%、次いで「中心市街地の魅力向上」で4.0%となっている。

「わからない」で最も多いのは、「水産業等の振興」で25.8%、次いで「市民公益活動の促進」で25.3%となっている。

#### 【行財政マネジメント】

「満足」が最も多いのは、「職員力の向上」が5.1%となっている。

「やや満足」が最も多いのは、「職員力の向上」で12.7%となっている。

「普通」が最も多いのは、「市民との情報共有の推進と公正の確保」で53.7%となっている。

「やや不満」が最も多いのは、「職員力の向上」で11.6%となっている。

「不満」が最も多いのは、「職員力の向上」で5.8%となっている。

「わからない」が最も多いのは、「健全な市政運営」で20.5%となっている。



### (3) 基本方針別にみる重要度評価

#### ① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「学校教育の充実」で 39.7%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」で 34.7%となっている。

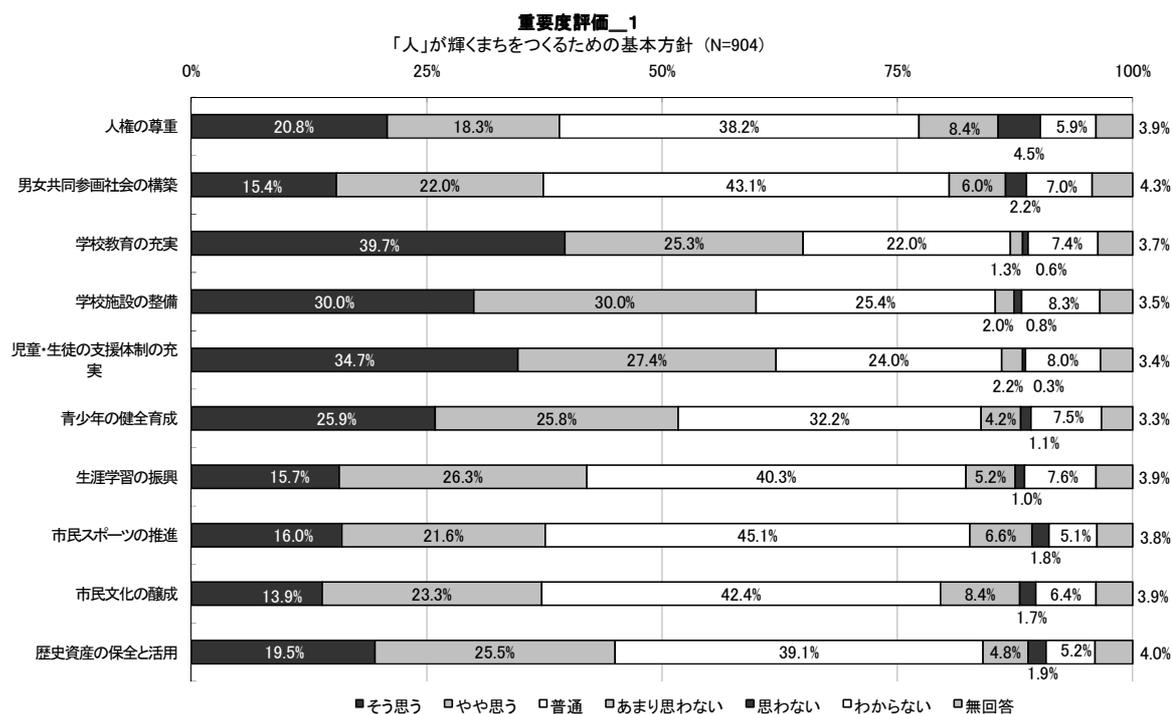
「やや思う」が最も多いのは「学校施設の整備」で 30.0%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」で 27.4%となっている。

「普通」が最も多いのは「市民スポーツの推進」で 45.1%、次いで「男女共同参画社会の構築」で 43.1%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「人権の尊重」と「市民文化の醸成」で 8.4%となっている。

「思わない」が最も多いのは「人権の尊重」で 4.5%、次いで「男女共同参画社会の構築」で 2.2%となっている。

「わからない」が最も多いのは「学校施設の整備」で 8.3%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」で 8.0%となっている。



## ②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「犯罪のないまちづくり」で44.6%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」で41.4%となっている。

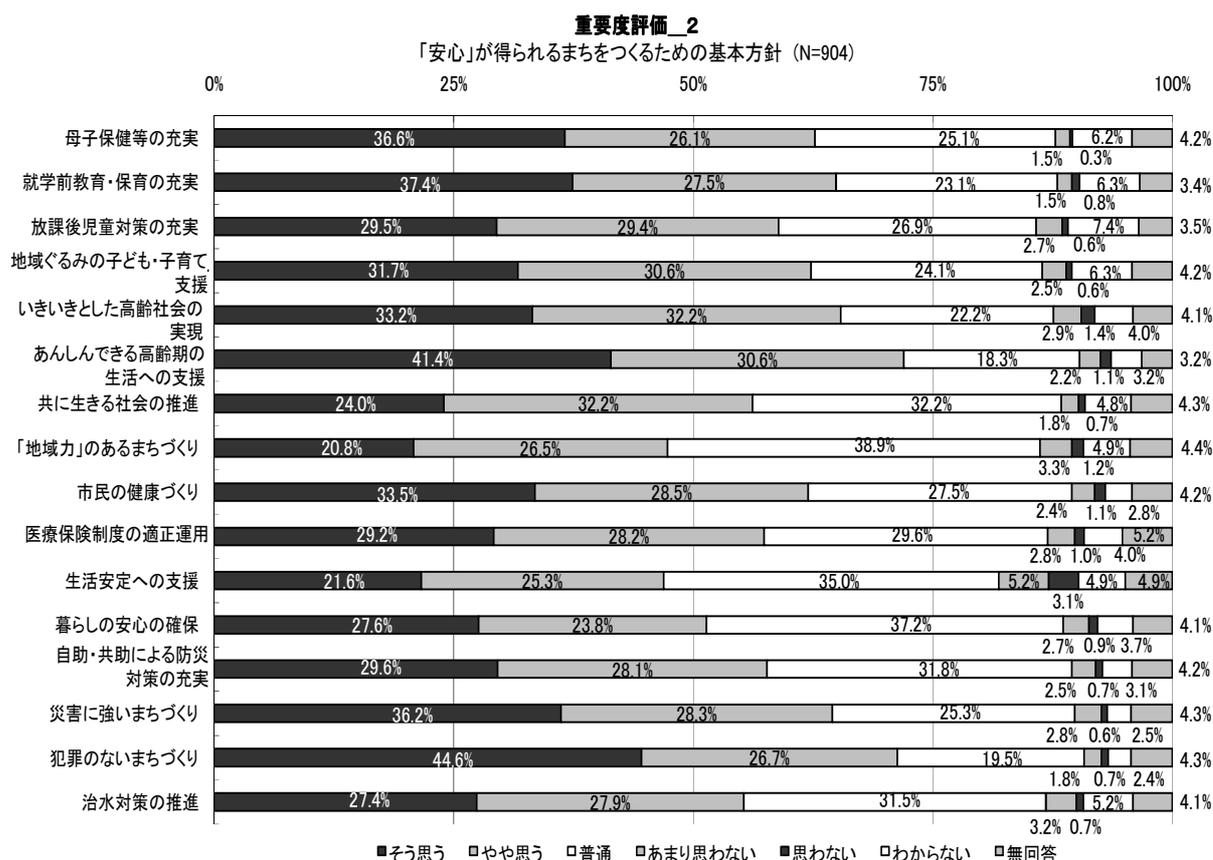
「やや思う」が最も多いのは「いきいきとした高齢社会の実現」と「共に生きる社会の推進」で32.2%となっている。

「普通」が最も多いのは「『地域力』のあるまちづくり」で38.9%、次いで「暮らしの安心の確保」で37.2%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「生活安定への支援」で5.2%、次いで「『地域力』のあるまちづくり」で3.3%となっている。

「思わない」が最も多いのは「生活安定への支援」で3.1%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」で1.4%となっている。

「わからない」が最も多いのは「放課後児童対策の充実」で7.4%、次いで「就学前教育・保育の充実」と「地域ぐるみの子ども・子育て支援」で6.3%となっている。



### ③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「水の安定供給」で 37.7%、次いで「安全・安心な道路空間の構築」が 33.8%となっている。

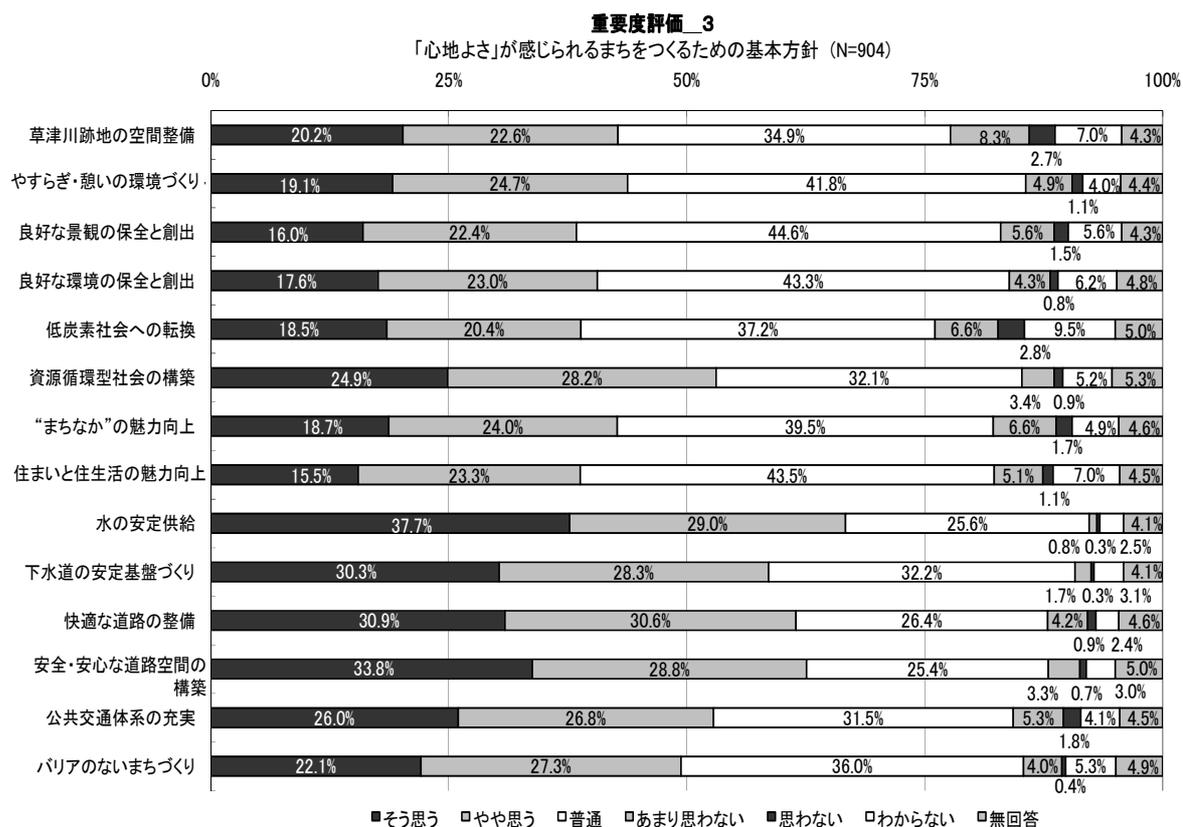
「やや思う」が最も多いのは「快適な道路の整備」で 30.6%、次いで「水の安定供給」で 29.0%となっている。

「普通」が最も多いのは「良好な景観の保全と創出」で 44.6%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」で 43.5%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「草津川跡地の空間整備」で 8.3%、次いで「低炭素社会への転換」と「“まちなか”の魅力向上」で 6.6%となっている。

「思わない」が最も多いのは「低炭素社会への転換」で 2.8%、次いで「草津川跡地の空間整備」で 2.7%となっている。

「わからない」が最も多いのは「低炭素社会への転換」で 9.5%、次いで「草津川跡地の空間整備」と「住まいと住生活の魅力向上」で 7.0%となっている。



#### ④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「観光の振興」で21.8%、次いで「農業の振興」で17.0%となっている。

「やや思う」が最も多いのは「観光の振興」で31.0%、次いで「商業の振興」で27.1%となっている。

「普通」が最も多いのは「市民公益活動の促進」で50.7%、次いで「市民自治の確立」で48.8%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「多様な交流活動の展開」で7.4%、次いで「水産業等の振興」で7.3%となっている。

「思わない」が最も多いのは「水産業等の振興」で2.8%、次いで「中心市街地の魅力向上」で2.3%となっている。

「わからない」が最も多いのは「市民公益活動の促進」で14.0%、次いで「水産業等の振興」で13.2%となっている。

#### 【行財政マネジメント】

「思う」が最も多いのは「職員力の向上」で29.8%となっている。

「やや思う」が最も多いのは「職員力の向上」で26.3%となっている。

「普通」が最も多いのは「市民との情報共有の推進と公正の確保」で36.8%となっている。

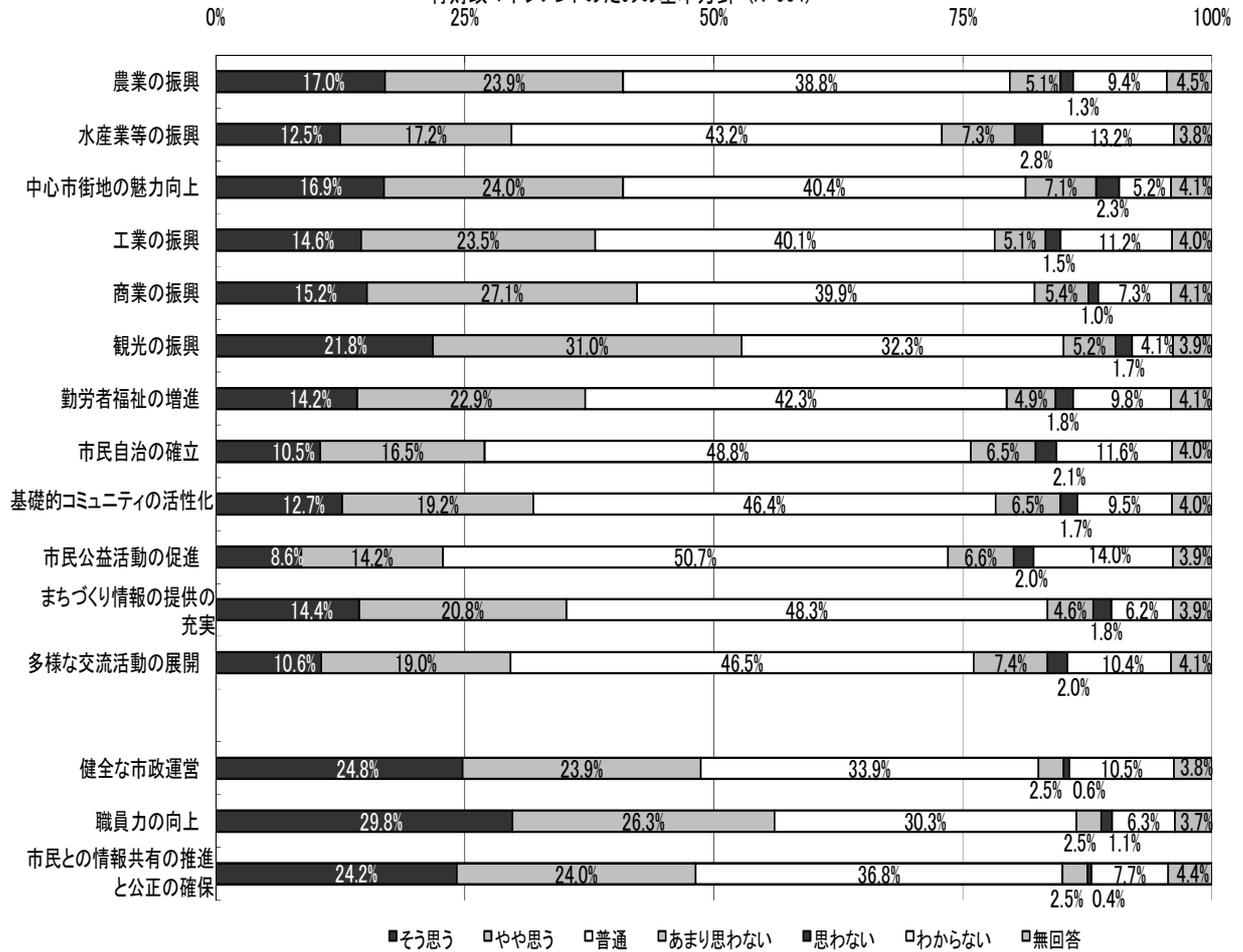
「あまり思わない」はそれぞれ2.5%ずつとなっている。

「思わない」が最も多いのは「職員力の向上」で1.1%となっている。

「わからない」が最も多いのは「健全な市政運営」で10.5%となっている。

重要度評価\_4

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針  
 行財政マネジメントのための基本方針 (N=904)



#### (4) 基本方針別にみる満足度と重要度

##### ①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「学校教育の充実」「児童・生徒の支援体制の充実」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「人権の尊重」「歴史資産の保全と活用」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

##### ②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「犯罪のないまちづくり」「あんしんできる高齢期の生活への支援」「就学前教育・保育の充実」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「共に生きる社会の推進」「『地域力』のあるまちづくり」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

##### ③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「安全・安心な道路空間の構築」「快適な道路の整備」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「資源循環型社会の構築」「良好な環境の保全と創出」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

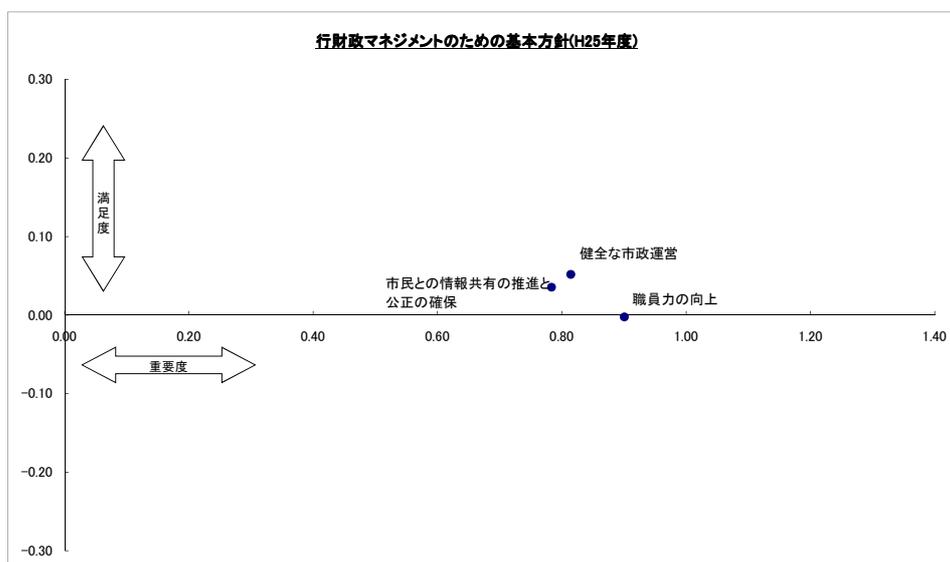
##### ④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

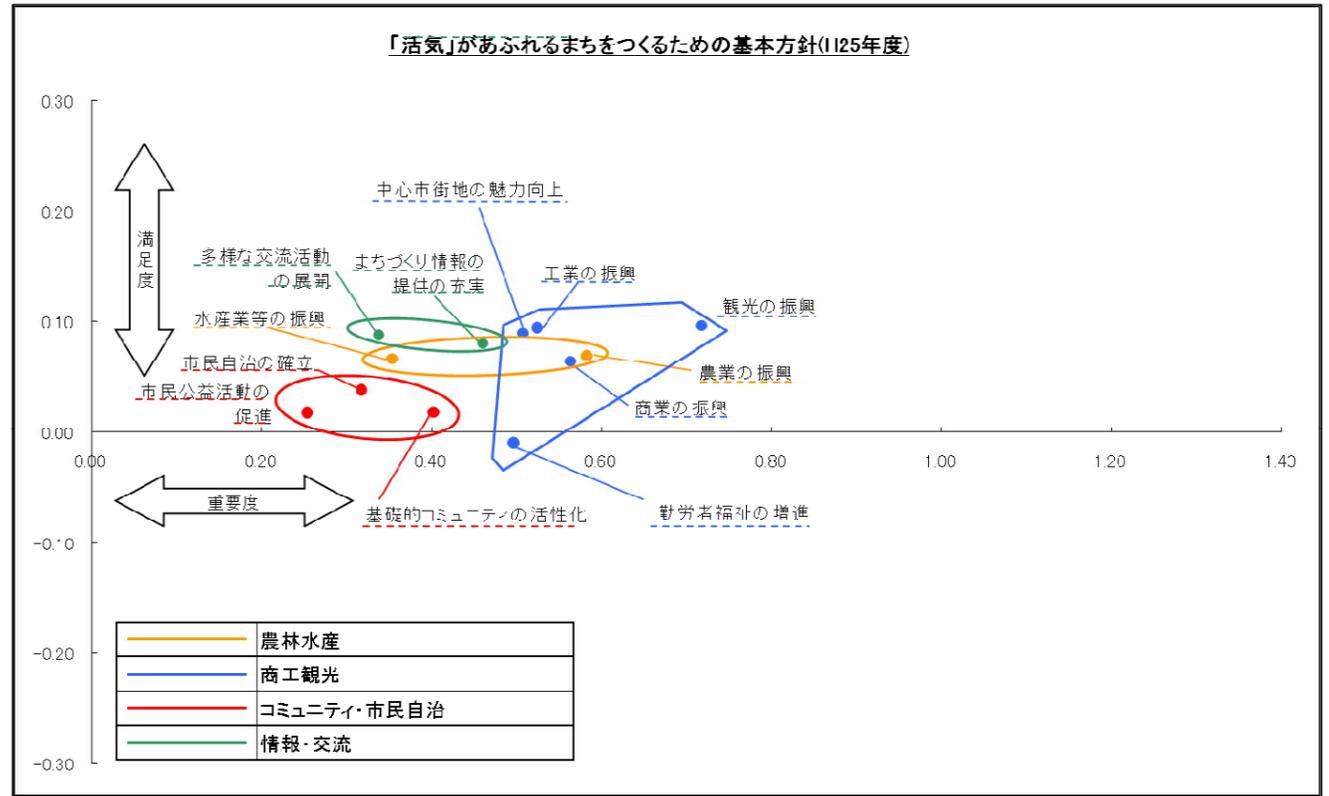
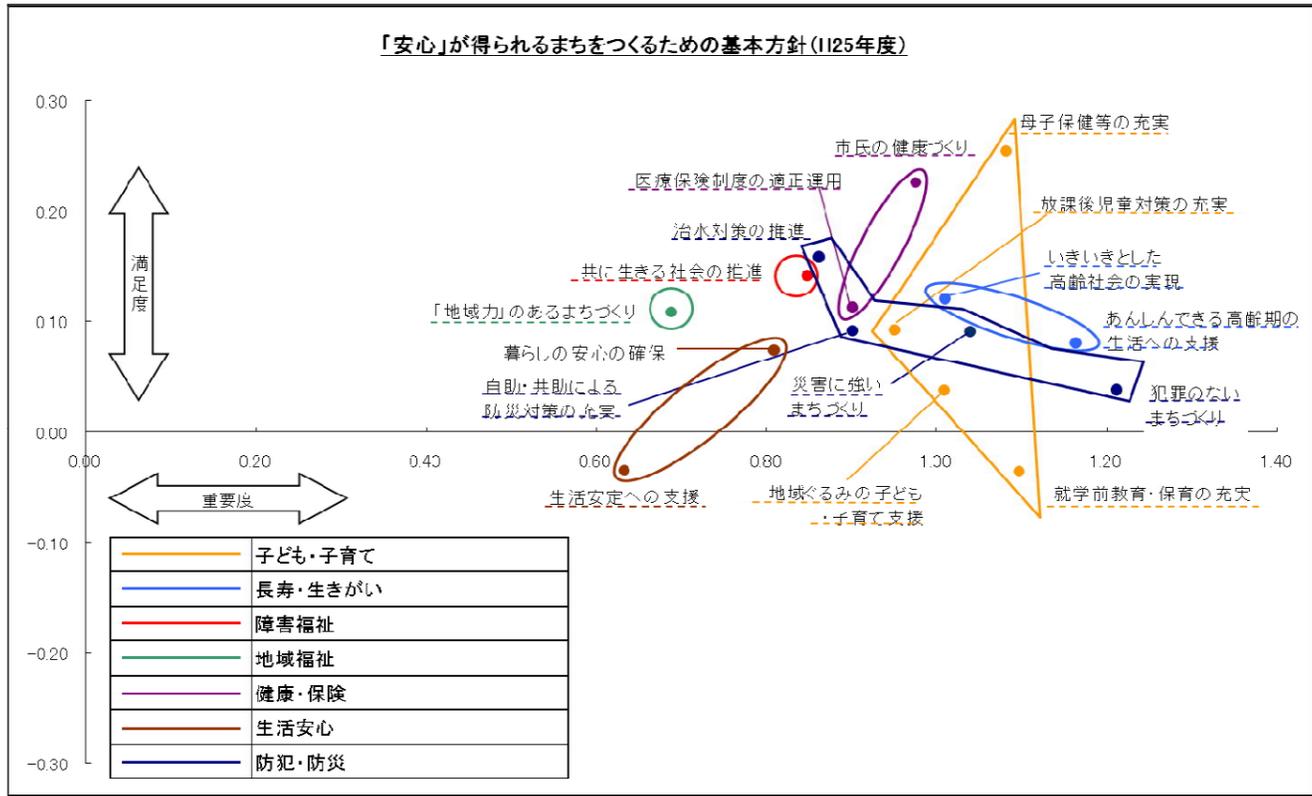
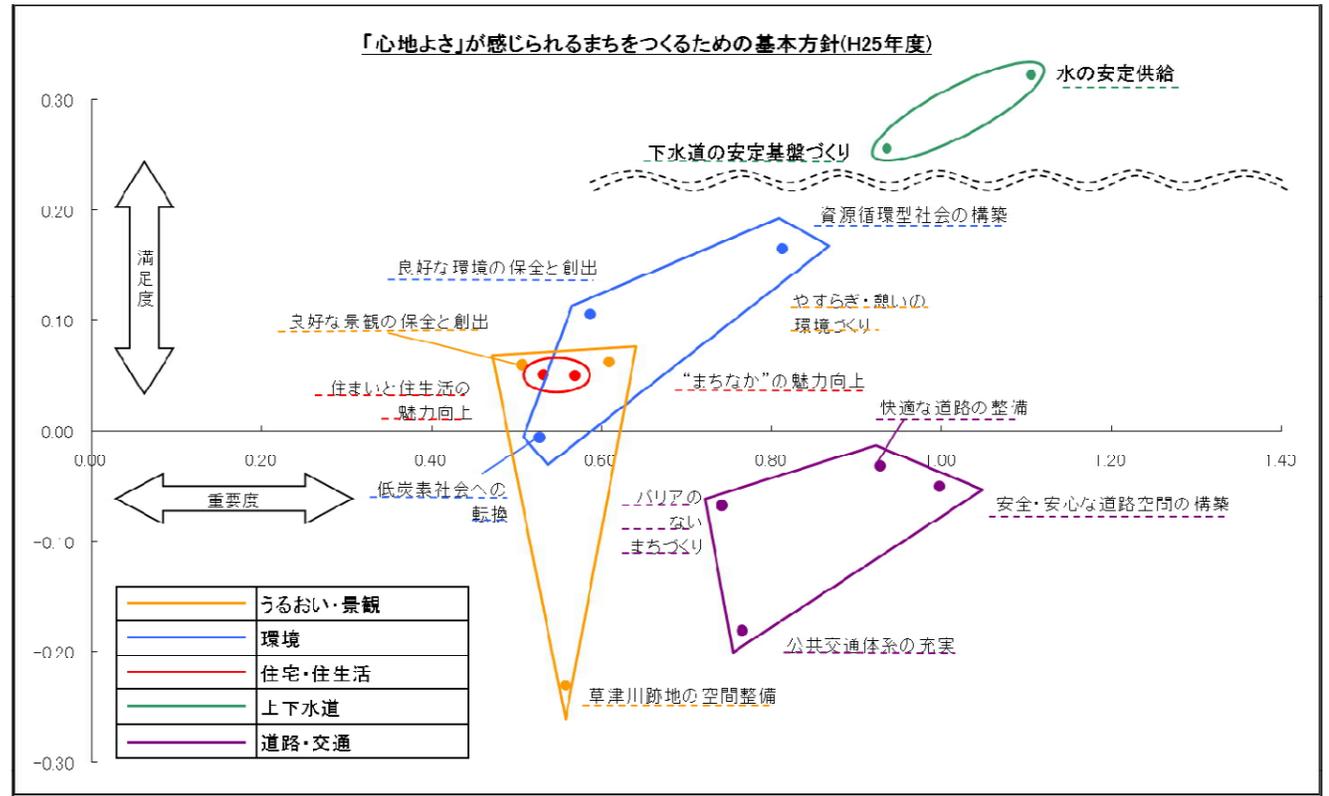
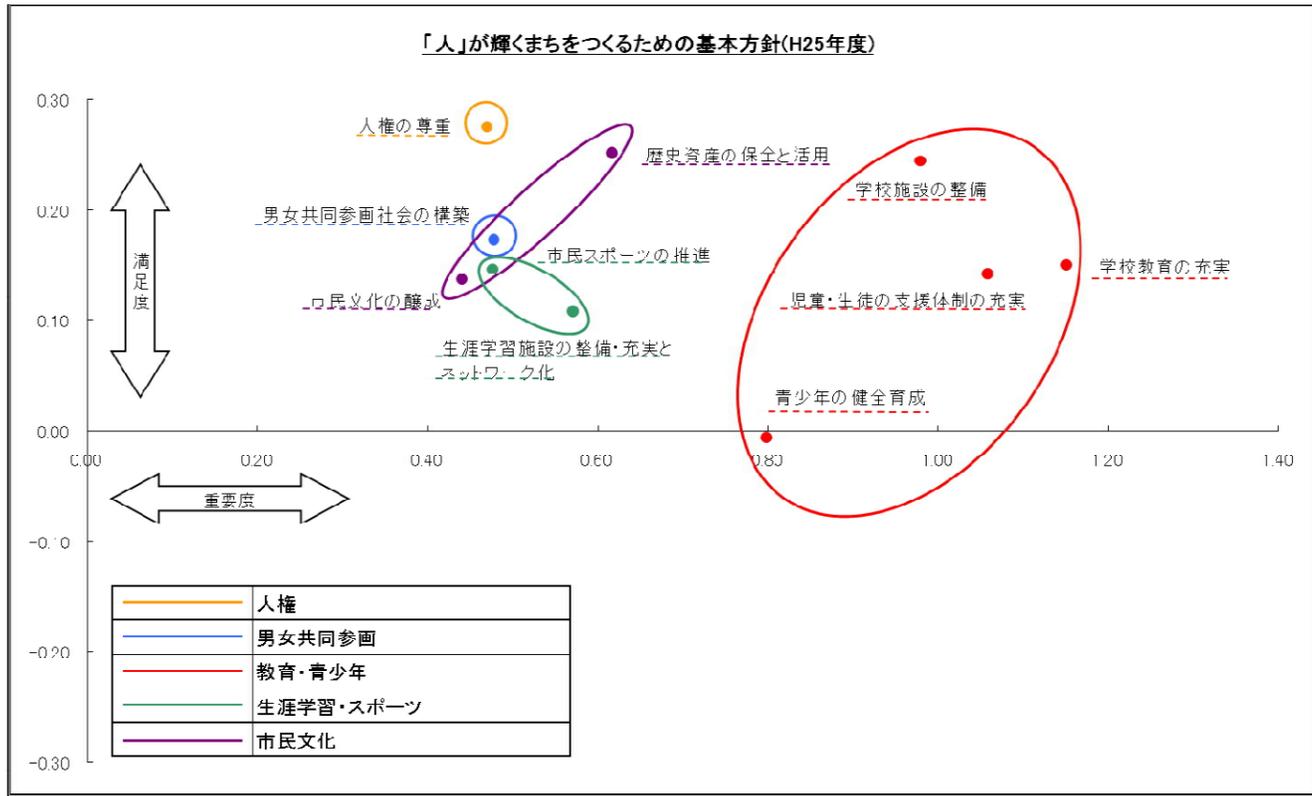
「勤労者福祉の増進」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「多様な交流活動の展開」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

##### ⑤「行財政マネジメントのための基本方針」

「職員力の向上」において「重要度が高く、満足度が低く」なっている。





## (5) まちの住み心地や日常の生活行動

### ① 住環境評価

「そう思う」が最も多いのは「買物をする環境が整っている」で 26.1%、次いで「総合的に住みやすいまちである」で 24.8%となっている。

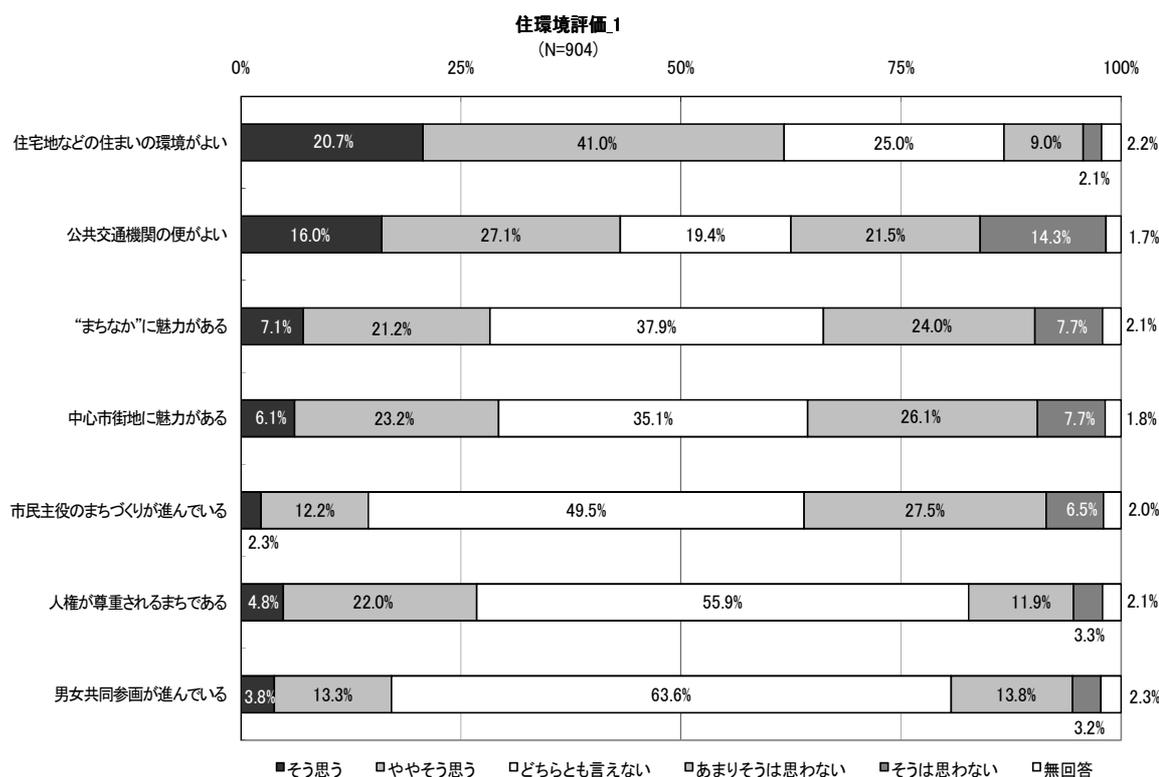
「ややそう思う」が最も多いのは「総合的に住みやすいまちである」で 47.3%、次いで「買物をする環境が整っている」で 42.4%となっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは「男女共同参画が進んでいる」で 63.6%、次いで「人権が尊重されるまちである」で 55.9%となっている。

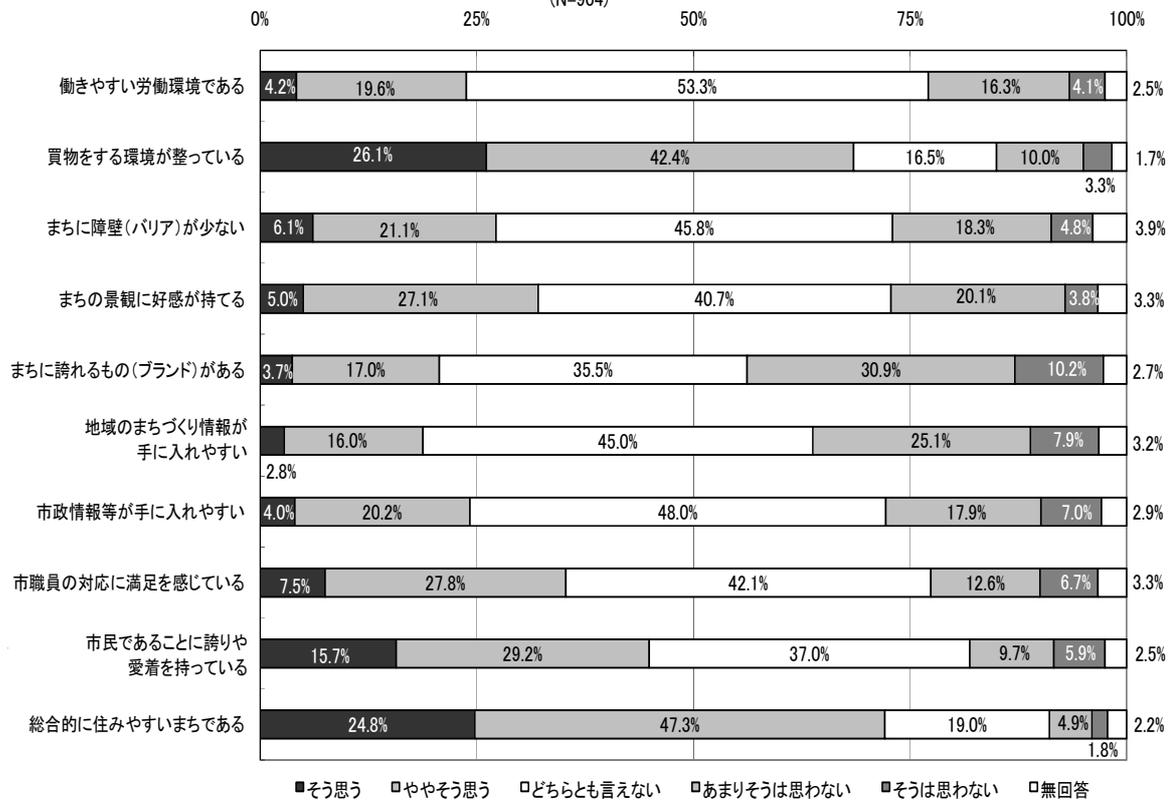
「あまりそう思わない」が最も多いのは「まちに誇れるもの(ブランド)がある」で 30.9%、次いで「市民主役のまちづくりが進んでいる」で 27.5%となっている。

「そう思わない」が最も多いのは「公共交通機関の便がよい」で 14.3%、次いで「まちに誇れるもの(ブランド)がある」で 10.2%となっている。

「総合的に住みやすいまちである」についてみると、「ややそう思う」が 47.3%と最も多く、次いで、「そう思う」が 24.8%、「どちらとも言えない」が 19.0%となっている。



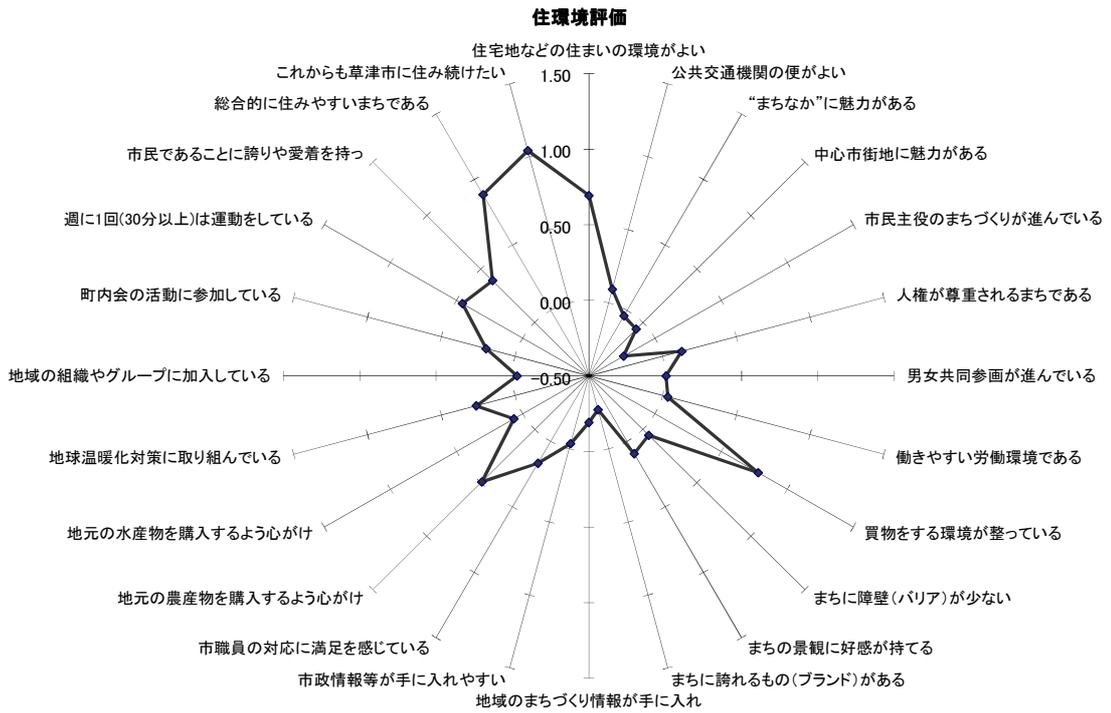
住環境評価2  
(N=904)



**【加重平均】**

「これからも草津市に住み続けたい」「総合的に住みやすいまちである」「買い物をする環境が整っている」において評価が高くなっている。

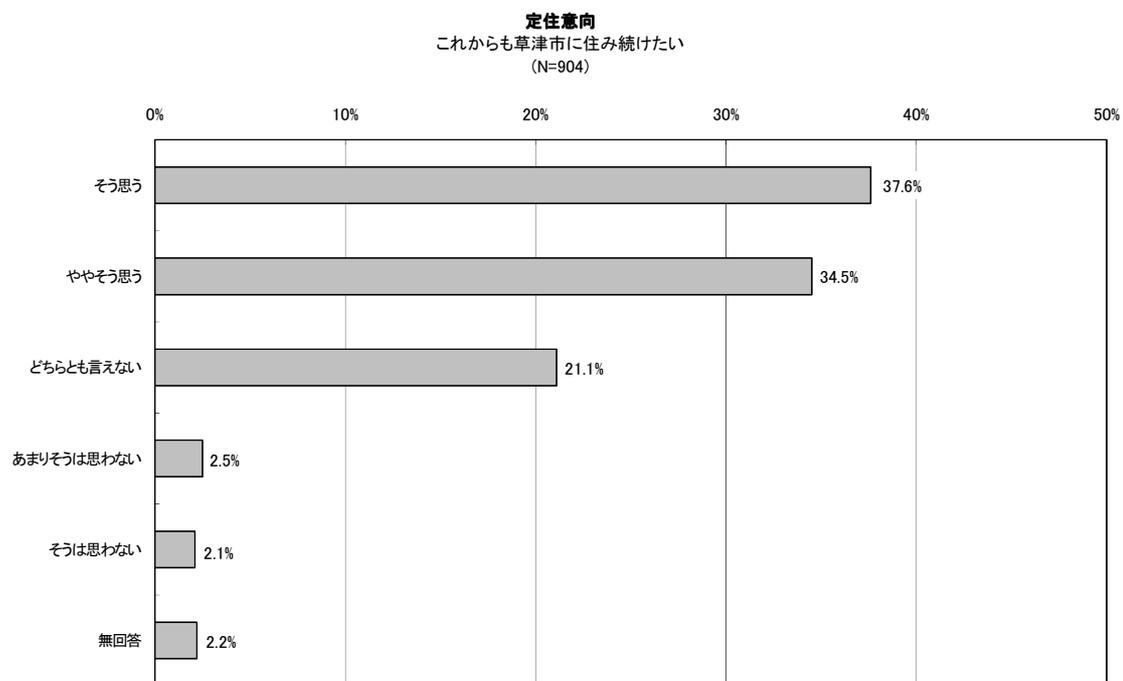
「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「地域のまちづくり情報が手に入れやすい」においては評価が低くなっている。



「そう思う」を2ポイント、「ややそう思う」を1ポイント、「どちらとも言えない」・無回答を0ポイント、「あまりそうは思わない」を-1ポイント、「そうは思わない」を-2ポイントとして全体の平均値を算出

## ②定住意向

「これからも草津市に住み続けたいか」については、「そう思う」が最も多く 37.6%、次いで「ややそう思う」が 34.5%となっている。



### ③ 日常の行動

「地元の農作物を購入しよう心掛けている」では、「ややそう思う」が最も多く 32.9%、次いで「どちらとも言えない」が 31.3%となっている。

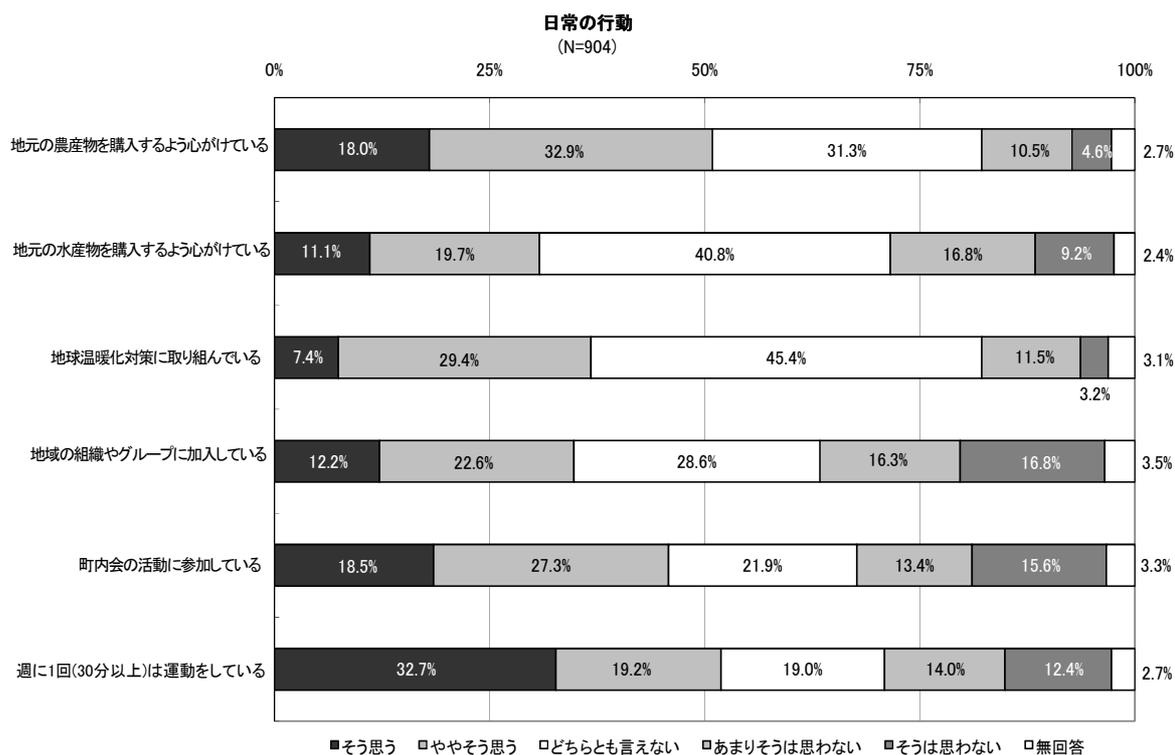
「地元の水産物を購入しよう心掛けている」では、「どちらとも言えない」が最も多く 40.8%、次いで「ややそう思う」が 19.7%となっている。

「地球温暖化対策に取り組んでいる」では、「どちらとも言えない」が最も多く 45.4%、次いで「ややそう思う」が 29.4%となっている。

「地域の組織やグループに加入している」では、「どちらとも言えない」が最も多く、28.6%、次いで「ややそう思う」が 22.6%となっている。

「町内会の活動に参加している」では、「ややそう思う」が最も多く 27.3%、次いで「どちらとも言えない」が 21.9%となっている。

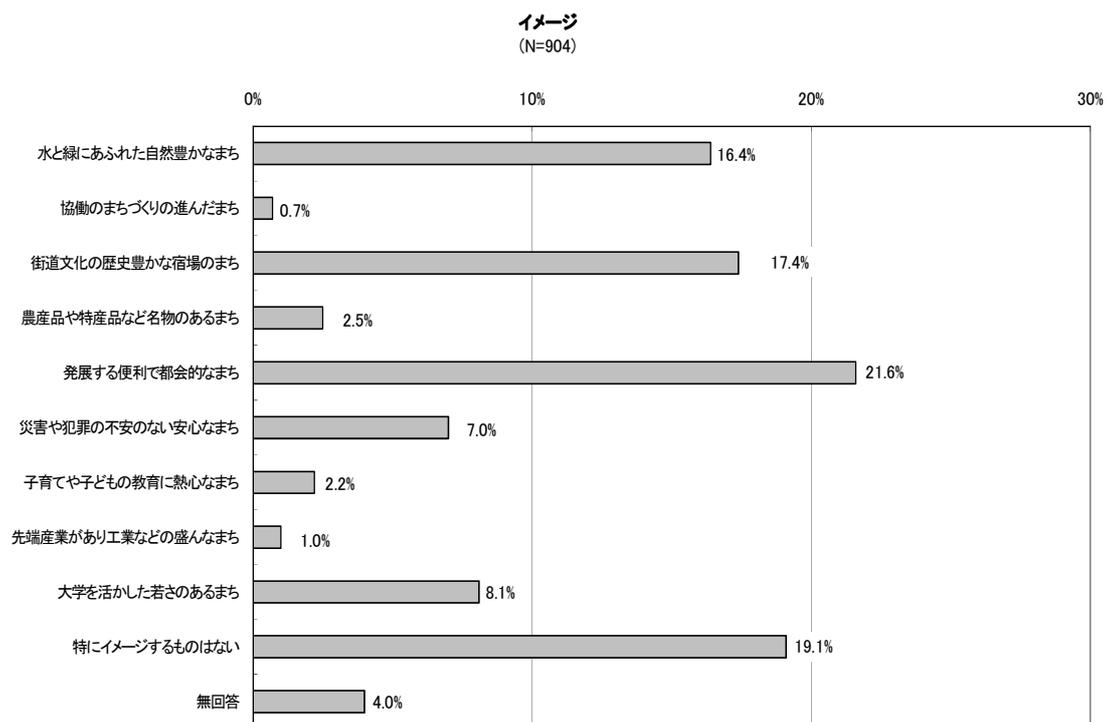
「週に1回(30分以上)は運動をしている」では、「そう思う」が最も多く 32.7%、次いで「ややそう思う」が 19.2%となっている。



## (6) 草津市のイメージ

### ① 都市イメージ

草津市のイメージとして最も多かったのが、「発展する便利で都会的なまち」で 21.6%、次いで多かったのが、「特にイメージするものはない」で 19.1%、「街道文化の歴史豊かな宿場のまち」が 17.4%となっている。



## ② 地域資源

「烏丸半島など琵琶湖畔」が最も多く17.8%、次いで「ハスの群生地」が10.3%、「イナズマロックフェス」が9.3%となっている。

